

9月定例会 市長より議会へ
行政報告



門脇慎夫市長

平成 21 年第 5 回定例会が 9 月 2 日に開会された。定例会初日には、議長・各特別委員会委員長の報告、また、門脇市長より各課関連の行政報告があった。行政報告から抜粋して掲載する。

**新庁舎建設
の進捗状況**

八月上旬、市民と職員共用の仮駐輪場が税務課北側に完成した。

西別館・南別館の取り壊しも九月末までには完了し、新庁舎の建設が始まるまでの間、再び来客者用駐車場として利用する予定である。なお、新庁舎の建設工事が始まると、来客用駐車場は本庁舎前



別館が取り壊された市庁舎と周辺

のみとなり、数が不足することから、職員駐車場として利用している日曜市南側駐車場を来客用駐車場に転用し、不足分を確保する。

昨年九月から職員チームや議会の庁舎建設特別委員会で検討を重ねた実施設計も八月に完成し、県より建築確認をもらった。これを受け九月には入札手続きに入り、十一月には契約を完了させ、十二月上旬に着工したいと

下水道事業

考えている。

現在、公共下水道事業を楠目地区で二件、農業集落排水事業を逆川地区で二件、合計四件の工事を発注している。

公共下水道事業及び特定環境保全公共下水道事業における事業認可が本年度末で終了することから、下水道審

**スクール・ニュー
デジタル構想**

安全・安心で環境にやさしい学校づくりを進めるために耐震化、エコ化、ICT（情報通信技術）化等の整備に取り組む。

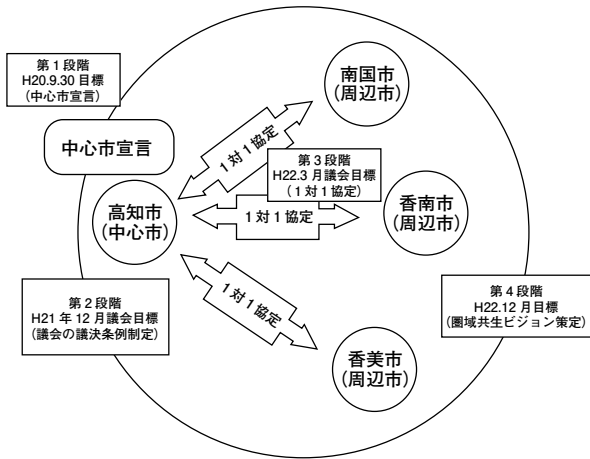
鏡野中学校施設耐震改修工事においては、学校・生徒の負担軽減及び安全確保のため、

議会から答申を頂いた区域拡大を目的とした都市計画決定や事業認可の変更作業を進めている。また、同じく下水道審議会から答申を頂いた下水道条例に基づく使用料金の変更を今議会に提案している。健全な下水道事業を将来に渡り運営していくため、必要な料金改定であり十分な審議を願いたい。

仮校舎を設置する。また、エコ化と環境・エネルギー教育への活用の観点から、六小中学校への太陽光発電の設置、情報教育の充実のため電子黒板機能付きデジタルテレビの導入、理科教育充実のための理科教育設備整備費等について、国の補正予算関連事業を活用し、今議会的一般会計補正予算に計上している。

定住自立圏構想

4市定住自立圏構想（高知市素案）



人口流出を防ぐため、広域的な圏域の中で、中核をなす市と周辺市町村が協定を結び、役割分担して地域の維持・活性化に取り組み、必要から制度化された。高知市を中心として南国市・香南市・香美市の四市による圏域形成について七月に岡崎高知市長より周辺三市長に対し提案と説明があった。

り、相互に協議、調整を行うことが確認された。手続きの全体イメージとしては、協定は中心市と周辺市が各々締結することとなっており、連携・協力の方向が確認されれば、議会において議決し、圏域ビジョンの策定を行うこととなる。高知市からは、九月末を目処に中心市宣言を行うべく準備を進めている旨の説明があった。

り、相互に協議、調整を行うことが確認された。手続きの全体イメージとしては、協定は中心市と周辺市が各々締結することとなっており、連携・協力の方向が確認されれば、議会において議決し、圏域ビジョンの策定を行うこととなる。

大栃高校統廃合後の利用は

本年度末に閉じられる大栃高校の後利用を検討する町内組織として『大栃高校統廃合後の利用検討会議』を七月に設置した。

市長、副市長、教育長、教育次長、物部支所長、農政課長、商工観光課長、保険課長、企画課長と県教育委員会で組織し、具体的な活用方法について、さまざまな観点から検討する。

保育園建設

B 保育園（仮称）の建設については、市道宮前秋月丸線沿いの用地を取得し、保護者や住民、保育士などの代表による保育園建設委員会を設置して基本計画に取り組んでいる。

建設委員会は、現在まで三回開催し、間取り案が出来上がった。今後は、設計業務と併せて開発許可申請に向けて取り組んでいく。

多子世帯の保育料軽減

本市の多子世帯の子

育てに係る経済的負担の軽減を図るため、園児を三人以上養育している世帯の第三子以降三歳児未満の保育料を保育所、幼稚園、届出認可外保育施設のいずれについても軽減または無料化する事業で、本年度十月分の保育料から実施する予定である。



来春、統廃合となる大栃高校を臨む

雇用対策

七月一日より、地域再生法に基づく地域再生計画が認定され、事業が開始された。

推進事業は二名体制で、早速IT・インターネット研修を実施し、雇用につなげた。今後、介護研修や観光ガイド研修等を実施する。また、実現事業については、九月から六名体制となり、農作業受託作業と観光・特産品まちづくり事業に取り組んでいる。